

環境に配慮したイベント実施マニュアル（エコイベントマニュアル）

イベント開催時（準備段階も含む）には、チラシ等の紙の使用による森林資源の減少、電気やガソリンの使用による地球温暖化など様々な環境負荷が発生します。

また、イベントには多数の人々が集まるため、来場者の環境への配慮に対する理解や実践活動を促進する良い機会です。

そこで、C-EMS では、本マニュアルに基づいて環境負荷低減の取組を推進することを推奨します。

※イベント：市主催・共催等のまつり、講演会、パレードなど、市民等が集まり、様々な環境負荷が予想される行事をいいます。

1. エコイベントマニュアルの活用方法

（1）自主事業の場合

イベントを開催する予定がある課かい等は、当マニュアルの取組項目を参照し、環境に配慮したイベントを実施します。

（2）イベントを委託する場合

仕様書・契約書等に環境に配慮する旨を記載するとともに、C-EMS 活動方針を添付してください。また、必要に応じて本マニュアルを参照させ、環境に配慮したイベントを実施するよう指示してください。

2. 取組項目

「C-EMS エコイベント取組項目」参照

C-EMS エコイベント取組項目

1. 主催者の環境配慮

取組項目	
(1) 廃棄物の発生抑制 イベントで発生する廃棄物の発生量を最小限にするとともに、発生する廃棄物はリサイクルに努めます。	
①	イベントの公報には、インターネット等を活用します。
②	チラシ、ポスター等の作成にあたっては、部数を厳密に積算し、無駄のないよう用意します。やむを得ず余ってしまった印刷物等は再利用又は資源化します。
③	展示パネルは、できる限り既存のものを活用します。
④	使い捨ての食器・ストロー等の使用をできる限り控えます（リユース食器等の導入を検討します）。
⑤	ごみ集積所は参加者に分かりやすく周知します。
⑥	ごみ分別ラベルについては、環境省の「大規模イベントにおけるごみ分別ラベル作成ガイダンス」を参考に作成します。 https://www.env.go.jp/recycle/waste/event/guidance.html （環境省 HP）
⑦	参加者がごみの4R（リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ）の必要性について分かるようPRします。
(2) CO2削減・省エネルギー イベントの開催にともない発生する二酸化炭素やエネルギーの使用量の削減に努めます。	
⑧	（屋内イベントの場合） 空調機の温度等を適正に管理するとともに、照明等の過剰使用を抑制します。
⑨	電力を使用する場合は、できる限り自然エネルギーを利用します。（太陽光・熱、風力、バイオガス等、グリーン電力証書の購入を含む）。
(3) その他 物品やサービスの購入にあたっては、環境に配慮したものを優先し、またイベントの開催を環境保全に対する理解や実践活動を促進する機会としてとらえます。	
⑩	イベントで使用する資材・物品等は、「茅ヶ崎市グリーン購入ガイドライン」に基づき調達します。
⑪	共催する場合は、環境配慮について十分な協議・連携を行います。
⑫	主催スタッフ・ボランティア、出店者等への事前説明において、環境配慮の主旨や内容を伝え、実施の徹底を求めます。
⑬	ポスター・チラシ・貼り紙・ホームページなどで環境配慮イベントをアピールします。
⑭	会場内では掲示や説明等により実施している環境配慮項目を来場者に分かりやすく知らせます。
⑮	取組内容や成果を積極的にPRし、他のイベントにおける環境配慮に貢献します。

(2) 協力団体・市民等への協力依頼

取組項目	
⑯	ポスターやチラシ、ホームページなどの広報媒体で、環境負荷の少ない交通手段による来場を周知し、駐車場内ではアイドリングストップの周知をします。
⑰	主催者・出展者・来場者へのごみの持ち帰りを呼びかけるとともに、発生したごみについての処理方法・分別方法を明示し、極力ごみの発生を少なくします。
⑱	マイバッグ、マイ食器の利用や簡易包装を呼びかけます。